

- 新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。
- 施工完了後はお施主様へお渡しください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

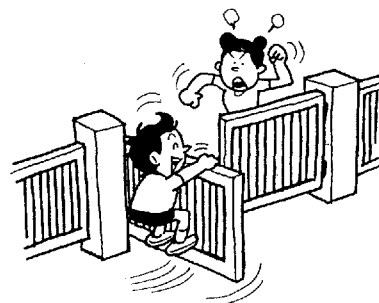
絵表示	意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。
	「必ず行っていただくこと」を示しています。

■ 注意事項 施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と鋼板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- ⑧電装商品の場合は配線工事を有資格の専門業者にご依頼ください。
- ⑨加工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合が無いか確認してください。

● ご使用上の注意とお願い

- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。
また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
- 開閉時には手足・衣服などを挟まないよう、注意してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 開閉操作はゆっくり行ってください。
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- 年に1回、ネジやボルトのゆるみがないか、確認してください。



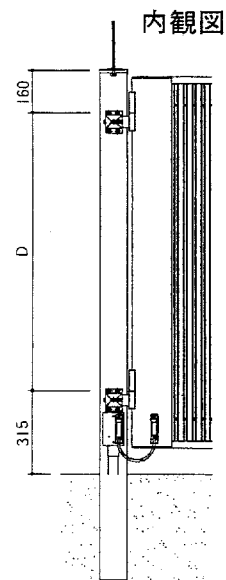
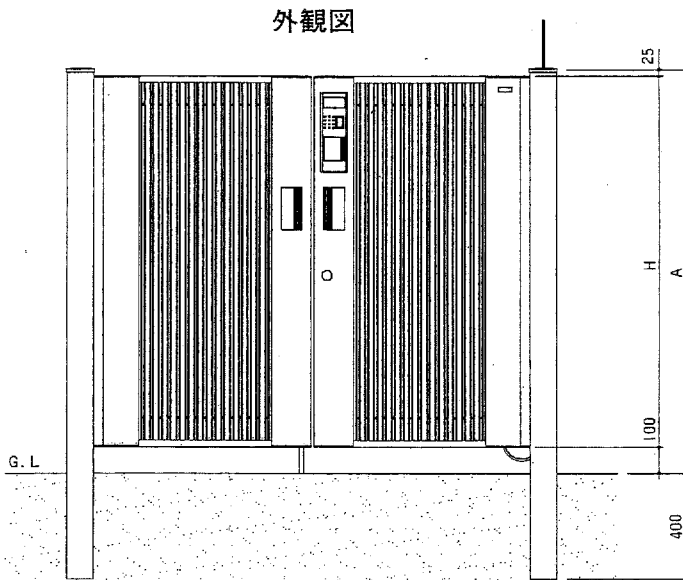
● 梱包明細

名称	梱包内容
Eシステム施錠扉	本体1枚(落し錠付)、框キャップセット、落し受けセット
Vシステム施錠扉	
受扉	
片開き門柱	戸当り門柱1本、門柱(キャップ付)1本、ヒンジセット、門柱キャップセット、取付けマニュアル
両開き門柱	門柱(キャップ付)2本、ヒンジセット、取付けマニュアル
戸当りセット	戸当り2本、ビスセット
吊り元カバー	吊り元カバー1本、ビスセット

門扉納まり図

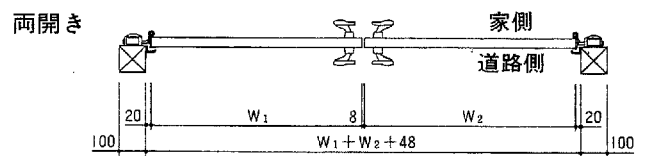
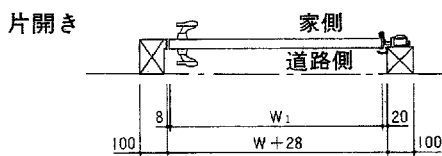
■門柱納まり

本図は右勝手、
内開きの納まり
です。
外開き納まりの
場合吊り元カバ
ーは付きません。



H	A	D
1400	1525	1050
1600	1725	1250

電気錠タイプは
3, 4枚開き、
直付納まりは出
来ません。



●門柱の施工上のご注意

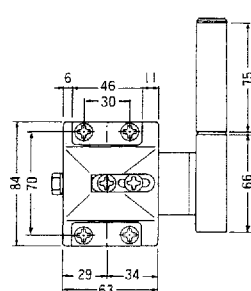
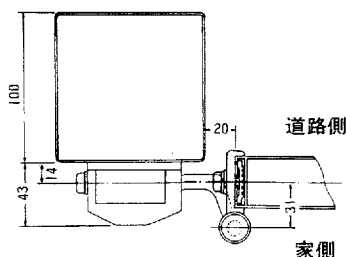
- ・門柱は内開き、外開き兼用です。
ヒンジが家側にくる様に門柱を施工してください。

■勝手区分の読み方

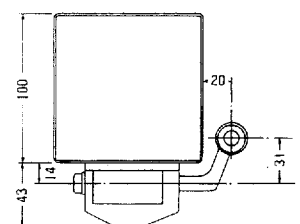
※直付納まり仕様はできません。

勝手区分	内開き時		外開き時	
	片開き納まり時	両開き納まり時	片開き納まり時	両開き納まり時
勝手区分A	右勝手 (家側)	右勝手 (家側)	左勝手 (家側)	左勝手 (家側)
	(道路側)	(道路側)	(道路側)	(道路側)
勝手区分B	左勝手 (家側)	左勝手 (家側)	右勝手 (家側)	右勝手 (家側)
	(道路側)	(道路側)	(道路側)	(道路側)

ヒンジ(内開き用取付け)



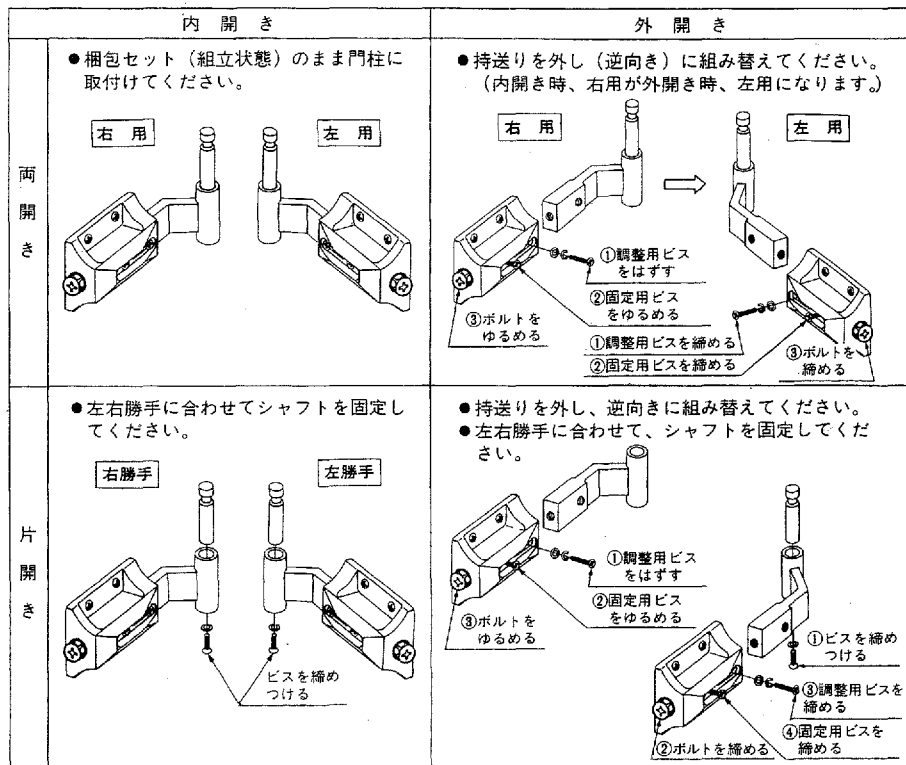
ヒンジ(外開き用取付け)



●ヒンジが門扉の外側に向くようにヒンジツボを取付け、持ち送りも外側に向くように取付けると外開きになります。

● 施工順序

■ ヒンジ組み替え方法



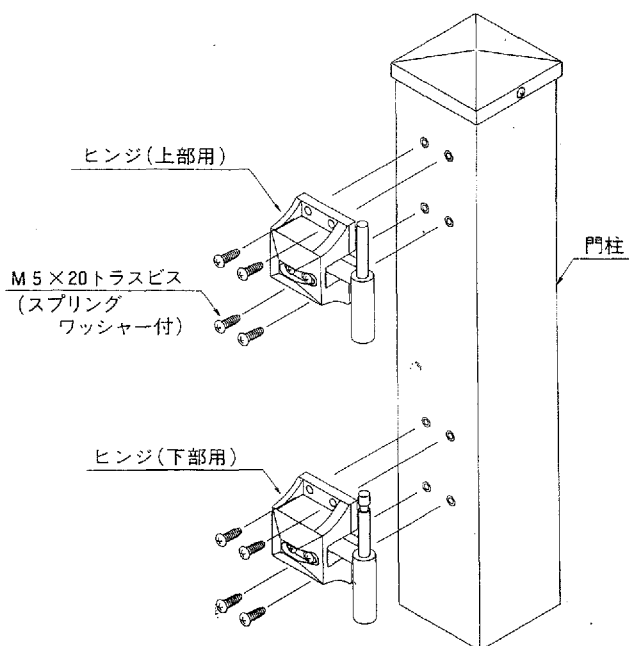
① ヒンジの組み替え

- ヒンジは内開き、外開き兼用です。
梱包時は内開き仕様になっていますので、外開きの場合は左表を参照してヒンジの組み替えを行ってください。
- ヒンジは右勝手、左勝手兼用です。
片開きの場合は左表を参照してシャフトを固定してください。

② 門柱の施工

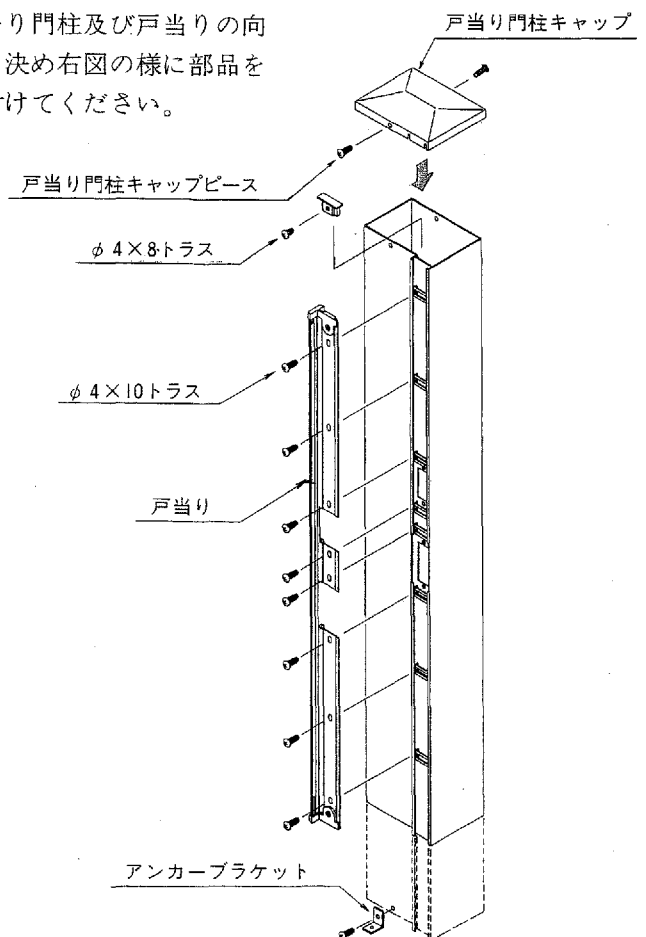
- 勝手区分の読み方を参照し、ヒンジの向きに注意してヒンジを門柱に取付けてください。

※ヒンジには上部用と下部用があります。
下図を参照して取付けてください。



〔片開きの場合〕 戸当り門柱の組立て

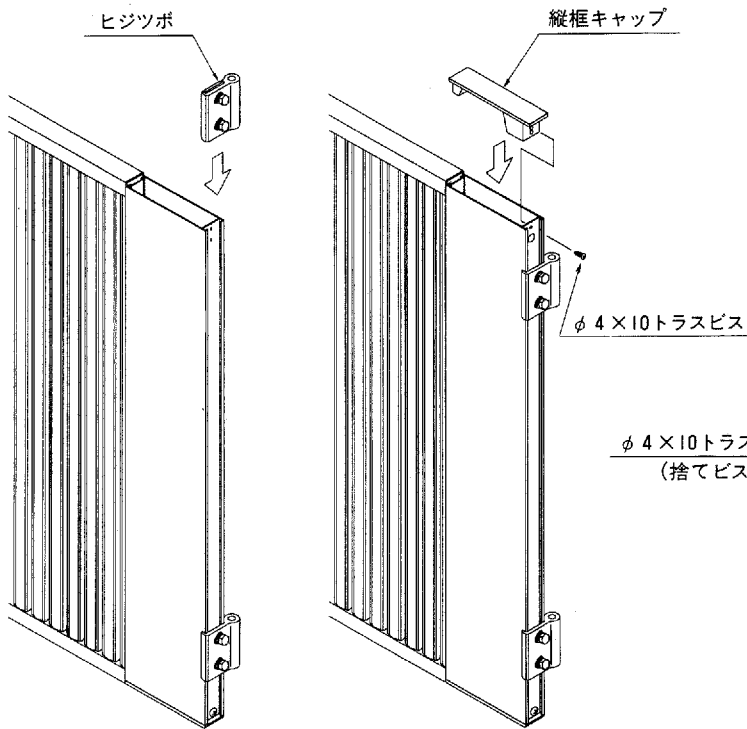
- 勝手区分の読み方を参照し、戸当り門柱及び戸当りの向きを決め右図の様に部品を取付けてください。



門柱に部品を取付けた後、門扉納まり図を参照して門柱の埋込み位置を確認し、施工してください。

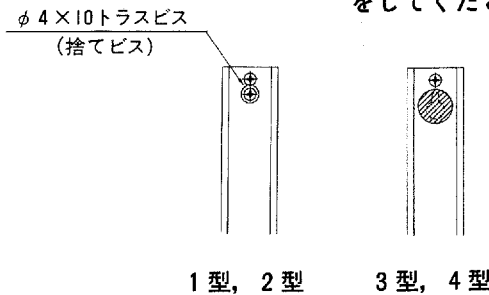
③ ヒジツボ及び縦枠キャップの取付け

・前ページを参照してヒジツボの方向を決め、門扉の吊元側上部よりヒジツボをスライドさせ、取付けてください。



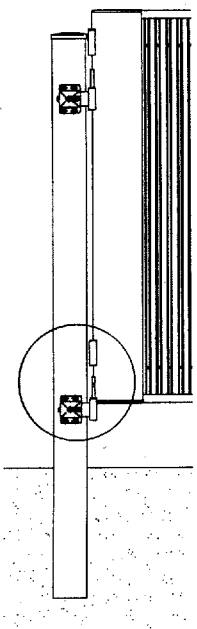
・ヒジツボ取付後、縦枠キャップを門扉に取付けてください。

※キャップ取付け時、
1, 2型には下図の様に捨てビス
をしてください。



3型, 4型

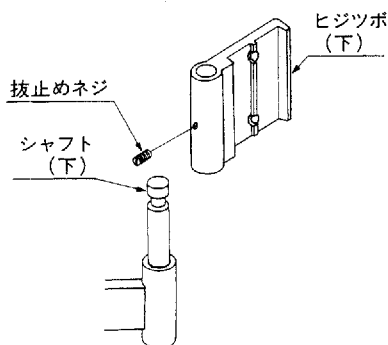
④ 門扉の吊り込み



・左図の様に門扉を吊り込んだ後、下のヒジツボに抜け止めの為のネジを取付けてください。

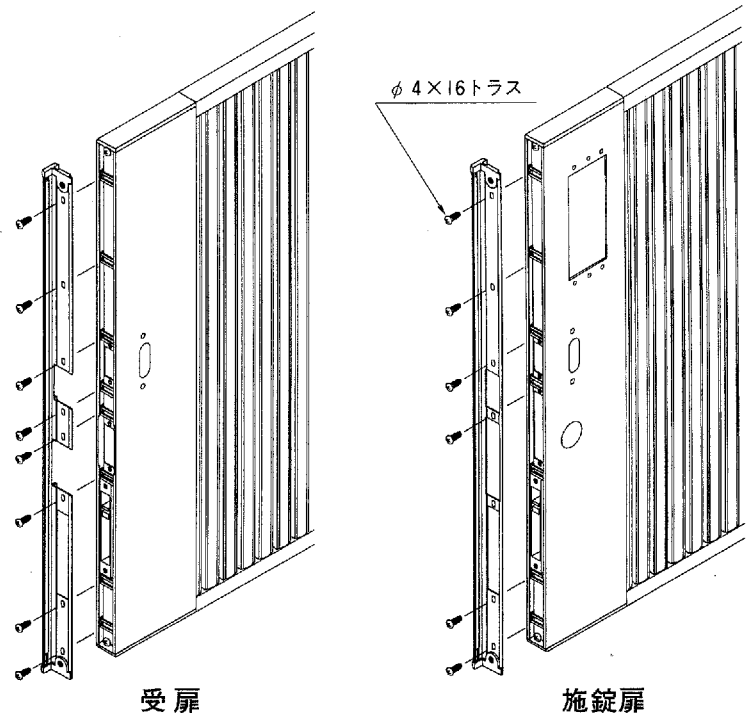


・取付後、ヒジツボにキャップを取付けてください。



⑤ 戸当りの取付け

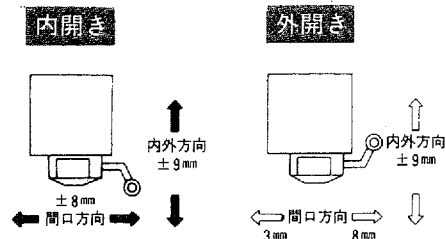
・戸当りは受扉用、施錠扉用、各々専用です。
下図を参照して各々取付けてください。



6 門扉のチリ寸法の調整

ヒンジ調整方法

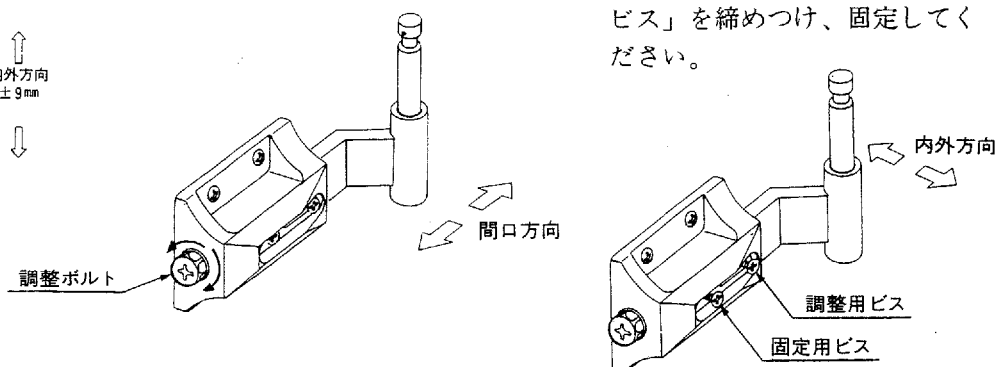
調整範囲



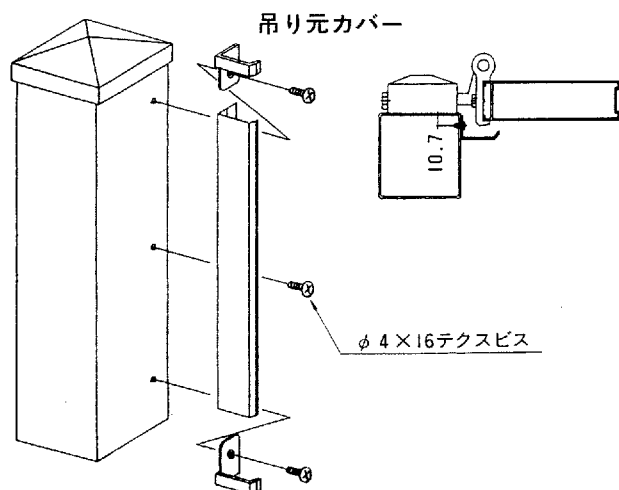
調整順序

①まず、「固定用ビス」をゆるめ、「調整ボルト」をまわし、「間口寸法」を決めてください。

②次に、「調整用ビス」をまわし、「内外寸法」を決めてください。寸法が決まりましたら、「固定用ビス」を締めつけ、固定してください。



7 吊り元カバーの取付け



・門扉の吊込み後、門扉の高さに合わせて吊り元カバーを門柱に取り付けてください。

※取付用のビスはテクスビスを使用しています。門柱に止めづらい時は、吊り元カバーの孔位置に合わせて門柱に下孔φ3.5を明けてください。

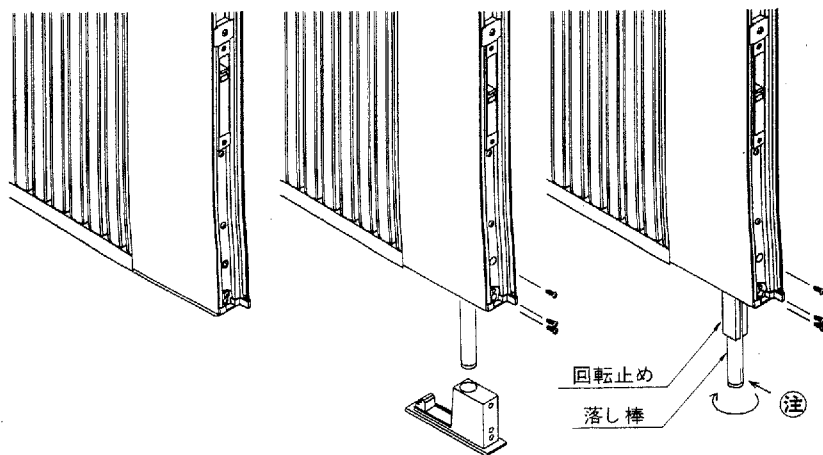
注) 外開き納まりには取付け出来ません。

8 落とし棒の長さ調整

・門扉縦框下端からGLまでの寸法が100mm（標準納まり）の場合、落とし棒の長さ調整の必要はありません。出荷時に調整済です。

※本落とし錠は足長落としにも使用できます。出荷時に門扉縦框下部～GLまでの寸法が60mm、100mm、130mmの位置で調整済です。その他の微調整は右図の様に縦框キャップをはずし、調整してください。

注) 調整後は必ず落とし棒についている線を右図の位置に合わせてください。

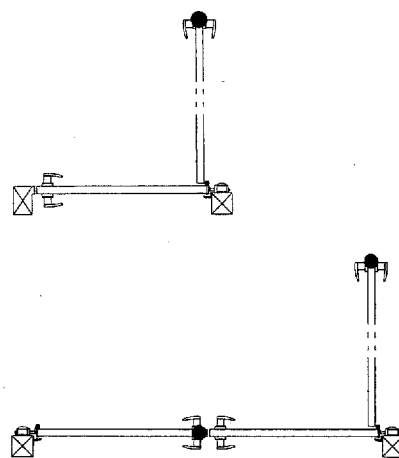
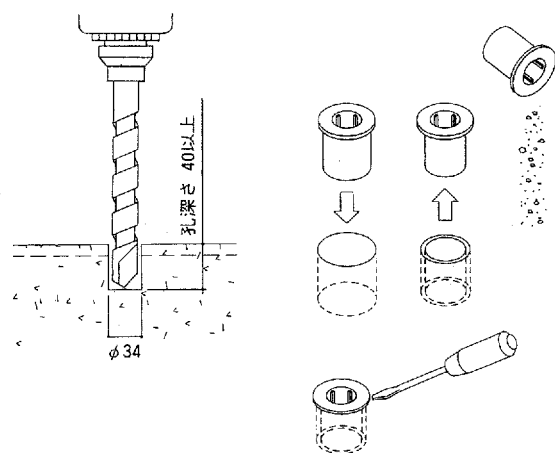


⑨ 落とし受の埋込みとメンテナンス

・ 落とし棒の位置に合わせてφ34の孔を明け
落とし受けを埋め込んでください。

※ 砂、ゴミ等は下図の様に捨てられます。

・ 落とし受けは門扉の開き勝手に応じて、●印の位置に埋め
込んでください。（本図は右勝手内開きです）



※ 電気錠システムの取付け及びプッシュプル錠の取付けは、各々梱包内のマニュアルをご覧ください。